



お知らせ  
します！

# 市の財政状況

財政課 ☎ 36-7123

市では、市民の皆さんに市の財政状況を知っていただくため、毎年6月と12月の年2回「市の財政状況」を公表しています。今回は、平成27年度の決算と平成28年度上半期（4～9月）の予算執行状況についてお知らせします。

## 1 平成27年度 決算状況

### 一般会計決算

#### 歳入

歳入総額は、377億3729万円で、前年度に比べ5億9154万円、率にして1.6%の減額となりました。

歳入の款別割合では、福祉や介護保険・医療保険に係る民生費の割合が30.9%と最も高く、高齢化の一層の進行により、今後も社会保障関係経費の増加が見込まれます。

また公債費は、建設事業に充当した市債や普通交付税の不足額を振り替えて発行する臨時財政対策債の返済により、前年度と同様に大きな割合を占めています。

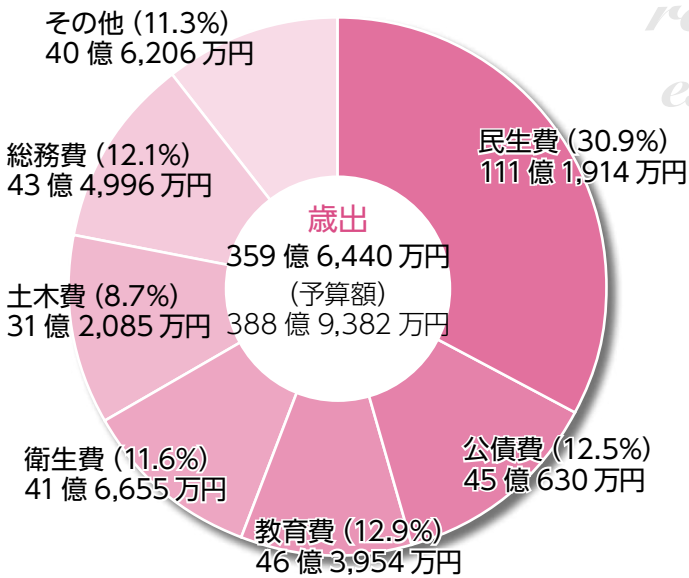
主な建設事業では、東町御請線や谷口中河線、色尾大柳線などの幹線道路の整備を進めてきました。施設整備では、川根図書館を併設した川根小学校が完成し、公共施設の複合化が図られました。

#### 歳入

歳入総額は、377億3729万円

### 歳出の内訳 (構成比%)

breakdown of revenue and expenditure



地方創生先行型事業などにより、総務費の割合が高くなりました。また、高齢者福祉や児童福祉の充実を図るため、民生費の割合も高くなりました。

※数値は、端数処理で調整してあります。

### 健全化判断比率

全ての会計が黒字となり（赤字の比率はなし）、実質公債費比率と将来負担比率は数値が改善し、財政の健全な状況を示しています。

実質公債費比率の改善は、公債費が前年度より減少したこと、合併特例事業債・臨時財政対策債など今後の元利償還金に対する普通交付税措置の厚い市債に絞って借り入れたことなどによります。将来負担比率の改善は、将来負担額が減少したこと、返済に充当可能な基金の残高が増加したことなどによります。

①実質赤字比率・②連結実質赤字比率／赤字なし  
③実質公債費比率（表1）／普通会計の借入返済額の割合（家計に例えると、1年間のローン返済額が家計の経常的な年収に対してどれだけ占めているのかを示す）を判断します。

※普通会計／一般会計と一部の特別会計の決算額を、統計上のルールによって合算しています。

④将来負担比率（表2）／普通会計が将来にわたり負担する実質的な負債残高の割合（家計に例えると、今後のローン返済総額が、経常的な年収の何倍になるかを示す）を判断します。

### 資金不足比率

公営企業経営における料金収入（事業規模）に

## 5年前と比較しよう

「一般会計」について決算額などを比較してみましょう。

民生費、教育費が大きく増加しています。一方、土木費は減少しています。市債残高は減少し、将来の支出に備えて蓄える基金残高は増加しています。

| 項目    | 平成 22 年度       | 増減率      |
|-------|----------------|----------|
| 歳出決算額 | 346 億 1,350 万円 | 3.9% ↑   |
| 民生費   | 92 億 1,107 万円  | 20.7% ↑  |
| 土木費   | 35 億 8,622 万円  | -13.0% ↓ |
| 教育費   | 35 億 8,041 万円  | 29.6% ↑  |
| 歳入決算額 | 372 億 1,984 万円 | 1.4% ↑   |
| 市債残高  | 439 億 2,017 万円 | -3.0% ↓  |
| 基金残高  | 71 億 7,632 万円  | 74.3% ↑  |

### ■ 実質公債費比率 (表 1)

| 項目/年度   | H25   | H26   | H27   |
|---------|-------|-------|-------|
| 島田市の状況  | 9.6%  | 8.8%  | 8.1%  |
| 県内市の平均  | 10.7% | 8.9%  | 7.9%  |
| 早期健全化基準 | 25.0% | 25.0% | 25.0% |
| 財政再生基準  | 35.0% | 35.0% | 35.0% |

### ■ 将来負担比率 (表 2)

| 項目/年度   | H25    | H26    | H27    |
|---------|--------|--------|--------|
| 島田市の状況  | 35.5%  | 25.0%  | 6.8%   |
| 県内市の平均  | 44.0%  | 34.7%  | 26.5%  |
| 早期健全化基準 | 350.0% | 350.0% | 350.0% |
| 財政再生基準  | —      | —      | —      |

### ■ 経常収支比率 (表 3)

| 区分/年度  | H25   | H26   | H27   |
|--------|-------|-------|-------|
| 島田市の状況 | 90.5% | 91.6% | 88.5% |
| 県内市の平均 | 85.4% | 85.4% | 84.9% |

※経常収支比率が高くなりすぎると、投資的事業（道路や学校の建設など）に対する予算が不足してしまいます。

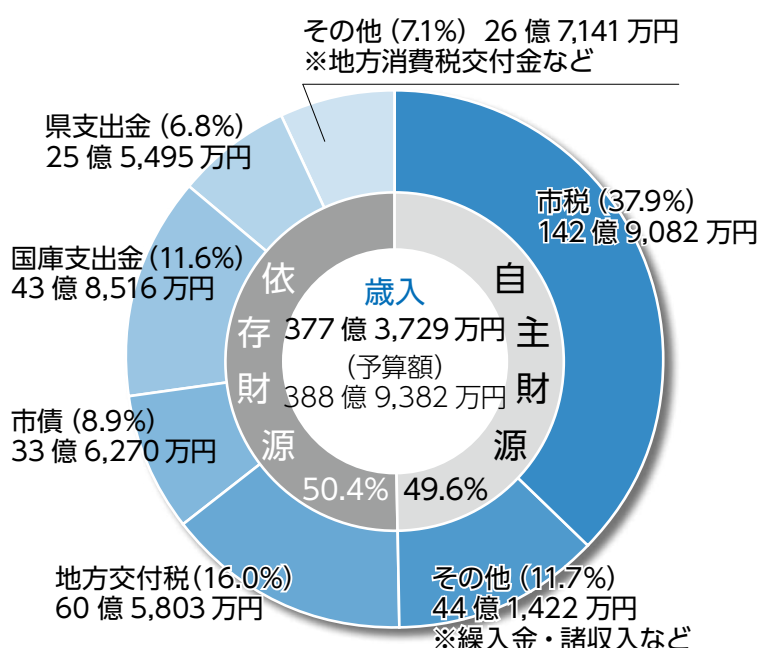
### ■ 財政力指数 単年 (表 4)

| 区分/年度  | H25  | H26  | H27  |
|--------|------|------|------|
| 島田市の状況 | 0.76 | 0.76 | 0.75 |
| 県内市の平均 | 0.88 | 0.89 | 0.90 |

※標準的に必要とされる予算規模のうち、自主財源でまかなわれる割合を示します。

で、前年度に比べ8502万円、率にして0.2%の減額となりました。市税は、平成27年度の税制改正において、法人税割の税率が引き下げられた影響などで市民税が減収したため、1億7368万円（1.2%）の減となりました。地方交付税は、1億1779万円（2.0%）の増となり、地方消費税交付金は、消費税率の改定により7億7522万円（66・3%）の大幅な増となりました。市の借金である市債は、臨時財政対策債や川根小学校改築事業に充当した過疎対策事業債などを借り入れましたが、新規借入を抑制したため、8億8870万円（20・9%）の減となりました。

## 歳入の内訳 (構成比%)



### 経常収支比率

対する資金不足額（赤字額）の比率を表したもので、全ての会計（簡易水道・公共下水道・水道・病院事業）において赤字はありません。

### 財政力指数

財政構造の弾力性を示す「経常収支比率」は、歳出に占める経常経費（人件費や扶助費など、欠くことのできない経費）の割合を示しています。市の経常収支比率（表3）は、人件費や補助費の減などにより数値が改善しましたが、依然として県内市の平均より高い水準で推移しています。

地方公共団体の財政基盤の強さを示す「財政力指数」は、数値が高いほど財政力が強いことを表します。市の財政力指数（表4）は、市税収入の減などにより、前年度より数値が低下しました。

## 特別会計決算

国民健康保険事業や公共下水道事業などの8事業は、一般会計と経理を区分して、事業の収支を明確にするために、それぞれ個別に特別会計を設けています。

各特別会計は、保険税や保険料、下水道使用料や国県支出金などにより運営しています。

平成27年度の決算額は、左の表のとおりです。

| 会計名       | 歳入          | 歳出          |
|-----------|-------------|-------------|
| 国民健康保険事業  | 117億7,334万円 | 114億3,082万円 |
| 簡易水道事業    | 2億672万円     | 2億27万円      |
| 土地取得事業    | 5億3,696万円   | 5億3,696万円   |
| 休日急患診療事業  | 2,261万円     | 1,314万円     |
| 公共下水道事業   | 10億6,228万円  | 10億4,853万円  |
| 介護保険事業    | 75億7,124万円  | 75億874万円    |
| 介護サービス事業  | 5,817万円     | 4,955万円     |
| 後期高齢者医療事業 | 10億3,003万円  | 10億2,821万円  |

## 企業会計決算

公営企業は、利用者からの料金により、公共の福祉の増進を目的に経営する事業で、水道・病院事業を公営企業会計により運営しています。

各事業の運営費を「収益的支出」、それに充てる料金収入などを「収益的収入」といい、事業に必要な施設・設備の整備費を「資本的支出」、企業債などその財源を「資本的収入」といいます。

| 会計名  | 区分  | 収入          | 支出          |
|------|-----|-------------|-------------|
| 水道事業 | 収益的 | 11億1,544万円  | 9億3,283万円   |
|      | 資本的 | 1億9,845万円   | 6億5,385万円   |
|      | 合計  | 13億1,389万円  | 15億8,668万円  |
| 病院事業 | 収益的 | 129億8,250万円 | 129億809万円   |
|      | 資本的 | 4億9,208万円   | 8億6,802万円   |
|      | 合計  | 134億7,458万円 | 137億7,611万円 |

※資本的支出に対する資本的収入の不足は、留保資金などにより補てんします。  
 ※地方公営企業会計基準の見直しにより、引当金（主に退職給付引当金）を特別損失として計上しています。

## 用語の解説

### 【水道事業】

収益的収入／水道料金など  
 収益的支出／人件費、受水費など  
 資本的収入／借入金など  
 資本的支出／水道管の布設工事費など

### 【病院事業】

収益的収入／検査料、入院料など  
 収益的支出／人件費、薬品や医療材料の購入費など  
 資本的収入／市の一般会計からの出資金など  
 資本的支出／医療機器購入費など



工事が進む市道東町御請線

| 会計      | 平成27年度末                | 平成26年度末                |
|---------|------------------------|------------------------|
| 一般会計    | 425億9,872万円            | 432億4,417万円            |
| 特別会計    | 44億5,180万円             | 45億8,159万円             |
| 企業会計    | 32億2,122万円             | 36億978万円               |
| 合計      | 502億7,174万円            | 514億3,554万円            |
| 市民1人当たり | 50万2,080円<br>(10万127人) | 51万1,054円<br>(10万646人) |

※道路や公共施設の整備などのために、国などから長期にわたって借りるお金（市債）。市民1人当たりの金額は、各年度の3月31日現在の人口から算出。

| 基金名     | 平成27年度末                | 平成26年度末              |
|---------|------------------------|----------------------|
| 財政調整    | 66億589万円               | 66億128万円             |
| 学校施設整備  | 4億1,500万円              | 4億1,357万円            |
| 新病院建設   | 9億1,062万円              | 5億974万円              |
| その他     | 45億7,620万円             | 46億2,459万円           |
| 合計      | 125億771万円              | 121億4,918万円          |
| 市民1人当たり | 12万4,918円<br>(10万127人) | 12万712円<br>(10万646人) |

※目的別に貯めているお金（基金）。現在、18の基金があります。市民1人当たりの金額は、各年度の3月31日現在の人口から算出。

## 借りているお金

## 貯めているお金

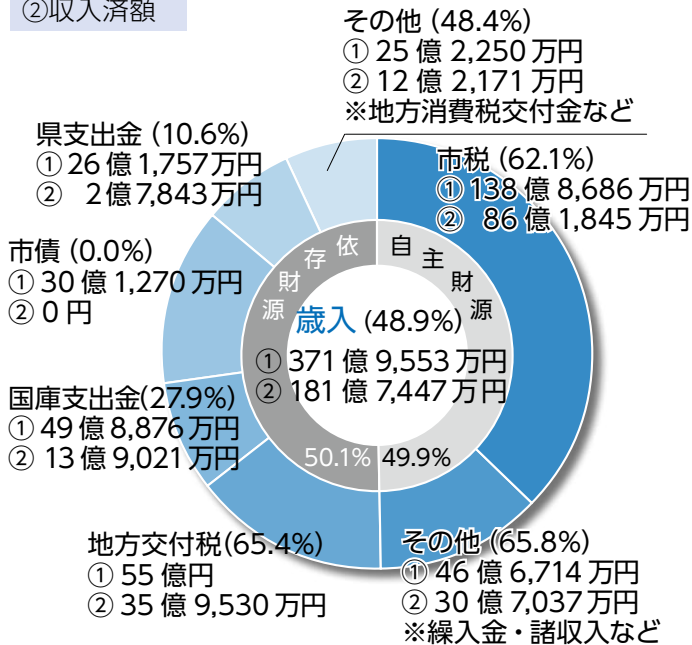
## 2 平成 28 年度 上半期執行状況 (平成 28 年 9 月 30 日現在)

### 一般会計執行状況 予算額 371 億 9,553 万円

*budget implementation*

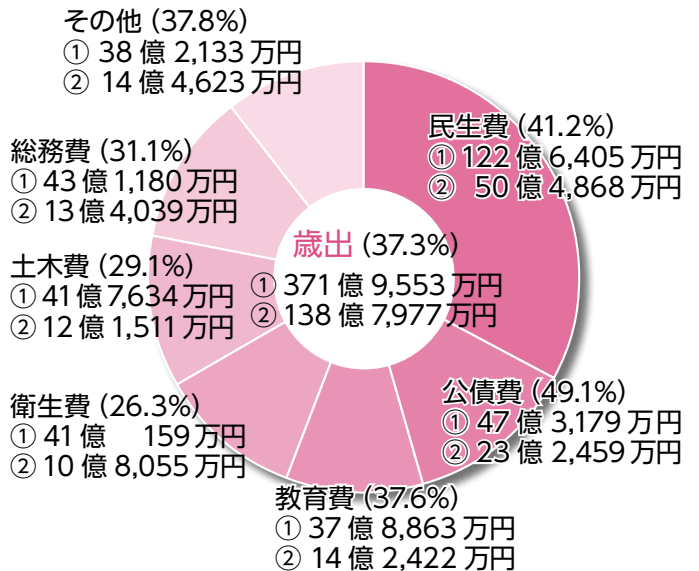
費目(執行率)  
① 予算額  
② 収入済額

#### 【 歳入の内訳 】



#### 【 歳出の内訳 】

費目(執行率)  
① 予算額  
② 支出済額



### 特別会計執行状況

| 会計名       | 予算額            | 収入済額          | 支出済額          |
|-----------|----------------|---------------|---------------|
| 国民健康保険事業  | 114 億 2,632 万円 | 47 億 6,154 万円 | 48 億 2,463 万円 |
| 簡易水道事業    | 1 億 7,698 万円   | 8,593 万円      | 6,164 万円      |
| 土地取得事業    | 6 億 2,003 万円   | 6 億 2,003 万円  | 0 万円          |
| 休日急患診療事業  | 1,497 万円       | 1,187 万円      | 478 万円        |
| 公共下水道事業   | 8 億 3,786 万円   | 3 億 6,512 万円  | 3 億 758 万円    |
| 介護保険事業    | 84 億 4,813 万円  | 34 億 5,584 万円 | 31 億 2,677 万円 |
| 介護サービス事業  | 7,925 万円       | 3,765 万円      | 2,974 万円      |
| 後期高齢者医療事業 | 10 億 9,001 万円  | 3 億 6,470 万円  | 2 億 3,299 万円  |



島田市産業支援センター「おびサポ」

### 企業会計執行状況

| 会計名  | 区分  | 収入             |               | 支出             |               |
|------|-----|----------------|---------------|----------------|---------------|
|      |     | 予算額            | 収入済額          | 予算額            | 支出済額          |
| 水道事業 | 収益的 | 10 億 9,407 万円  | 5 億 1,053 万円  | 10 億 4,680 万円  | 3 億 2,878 万円  |
|      | 資本的 | 3 億 1,663 万円   | 1,522 万円      | 6 億 3,161 万円   | 5,324 万円      |
|      | 合計  | 14 億 1,070 万円  | 5 億 2,575 万円  | 16 億 7,841 万円  | 3 億 8,202 万円  |
| 病院事業 | 収益的 | 132 億 772 万円   | 63 億 2,407 万円 | 135 億 4,810 万円 | 54 億 6,095 万円 |
|      | 資本的 | 15 億 1,819 万円  | 0 円           | 22 億 9,913 万円  | 6 億 6,177 万円  |
|      | 合計  | 147 億 2,591 万円 | 63 億 2,407 万円 | 158 億 4,723 万円 | 61 億 2,272 万円 |